

奥深い

「The Object of Rotary」

著者 桑原 薫

「The Object of Rotary」の原文の変通と訳を考慮し、自分なりに翻訳してみました。解釈の要はなし。

- ① Ideal (理想) は「理想的なあり方」、Idea (理念) は「柱となる考え方」の意
- ② service (役に立つこと) は、奉仕 (見返りを求めないサービス) の上位概念
- ③ 米山梅古翁は「The Ideal of Service」を「サービス理想」と訳したが、その後の敵性語排斥運動により「奉仕の理想」となった
- ④ 奉仕の理想とは、「第一種語から第二種語の哲学である」と記されている通り、self (エゴイズム) よりも service (サービス) を追求する方が得策であるという理念

FRIENDSHIP PLAZA

れと関連する下記の各項を奨励することだが、ロータリー全体の目標である

第一 サービスの向上を目指して、知識を開發すること

第二 職業関係者へのサービスを奨励として、職業の倫理基準が高まり、有用な全職業の認知度および各ロータリアンの職業の品位が高まること

第三 個人生活・職業生活・社会生活において、ロータリアンがおのおの「サービス理想」という理念を応用すること

第四 「サービス理想」という去で一つになった職業人の世界的な組織を通じて、国際理解と国際親善と国際平和の推進に貢献すること

(第二九〇章 紳士風風 メタルコーティング)

⑤ 複数ある「目標」の最終到達点か、一つの「目的」

⑥ 「The objects of Rotary (ロータリーの目標(全部))」は、一九五二年「The object of Rotary (ロータリーの全員に共通の目標)」となる(訳註欄の特別用語)

⑦ encourage to foster は、一つの意味を複数の単語の共通項に示す類義語集積法

⑧ base は建物の土の「土台・基礎」、basis は物事の「基本・基本理念」の意

⑨ in particular は、この場合「上記に関連する下記の項目に絞って」の意

⑩ acquaintance (見て知った人) は、不可算名詞の場合は「見知り(た人)」の意

⑪ ①の an opportunity は「向上の可能性」の意

⑫ ①の as an opportunity to は「〜を契機として」の意

⑬ business of professions は「職業活動の場」の意

⑭ 一九〇〇年当時における society (社会) は「利害を分かち合う仲間の集まり」の意

⑮ 一九〇〇年当時の community (共同体) は「地域を共にする仲間の集まり」の意

⑯ fellowship (親睦) は、可算名詞の場合には「志を共にする仲間の集まり」の意

以上を踏まえて翻訳すれば、次のような文章になると思われます。

ロータリーの目標

☆ 職業の基本理念となる「サービス理想」として目標を奨励することだが、